

# 平成29年度

## 石巻市子どもの未来づくり事業（第Ⅱ期）

### 「学習指導の改善を図る研修会」

本研修会は、石巻市内小・中学校の教員を対象に平成27年度から本格的にスタートし、今年で3年目となります。石巻市の各小中学校が抱える学校課題の解決に向けて、「学級づくり」「人間関係づくり」「信頼関係づくり」「児童生徒理解」の4つの視点から教員の指導力向上を図り、その結果、学級や学校の力が向上し、学力も向上していくという認識のもと、取り組んでいるものです。

## 第1回、第2回研修会

- 日時 平成29年5月8日（月）、10日（水）9：25～
- 場所 石巻市立万石浦中学校体育館
- 講師 広島大学大学院教育学研究科  
附属教育実践総合センター長 栗原慎二教授



今年もお世話になる栗原教授。



#### ☆研修内容

8日午前：マルチレベルアプローチ（MLA）総論

8日午後：MLAを支える4つの理論

実践発表 万石浦小 菅原 智教諭

万石浦中 小山 晴美教諭

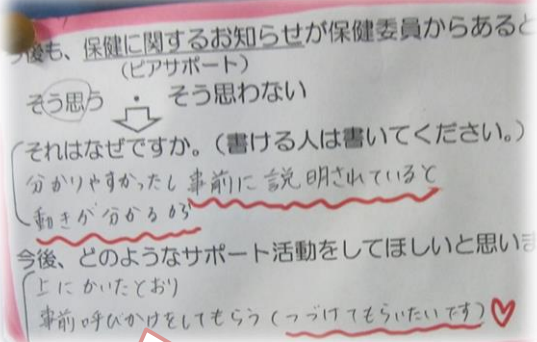
10日午前：個と集団に対するベーシックスキル

10日午後：「アセス」の活用 研究発表 万石浦中 勝又 貴光教諭



#### <受講者の声>

- ◇ 子どもたちを取り巻く状況が分かり、私たちがどう関わっていき、信頼関係を築いていったらよいか分かった。4人やペアで話し合ったり自己開示したりしながら、楽しく研修を受けさせていただいた。信頼関係の大切さが分かった。
- ◇ 万石浦小・中学校の実践を聞き、学校全体で一つの目標を定め、いつ、どのような取組を行うかという構想が明確であり、学校全体で共通行動しているところが素晴らしいと思った。現任校でも、もう一度ねらいを理解し合い、チェックする体制をしっかりと整えていきたい。
- ◇ 本校では昨年度後半からSEL、協同学習に取り組んでおり、今年度の取組も同様に考えている。一か月が経過しているが、取組についてのチェックがきちんと行われて



万石浦中 専門委員会における  
ピア・サポート活動の掲示物

いないことに気づかされた。各学級の取組が共通のものとなるように、本日の研修を生かしていきたい。

- ◇ 教師は何でも自分で解決しようとしてしまう。本当は「子どもの問題解決能力を上げるようにするのが教育」という言葉が心に響いた。生徒の話を聞くときのコミュニケーションスキルも、まず自分で実践して、周囲の先生と共有していきたい。
- ◇ 「学校適応」と「学校適応感」は違うという点で、自分自身、教師としての経験だけをもとに生徒を見ているように感じました。そこで、アセスの必要性や活用の仕方を改めて知ることができました。

